

LIXIL E-SHAPE シリーズ

カーテンウォールパーツ初期設定ガイド (ARCHICAD 22)



E-SHAPE シリーズ ARCHICAD カーテンウォールパーツ初期設定ガイド 目次

1. 環境設定	1
● ライブラリのロード	1
● お気に入りのロード	3
● 断面形状のロード	7
2. LIXIL E-SHAPE カーテンウォールの仕組み	10
3. カーテンウォールの初期設定	11
● スキーム設定	11
● フレーム設定	14
● パネル設定	16

1. 環境設定

LIXIL E-SHAPE カーテンウォールパーツは ARCHICAD15 以降でご利用が可能です。ここではパーツをご利用頂く前に必要な環境設定について解説します。

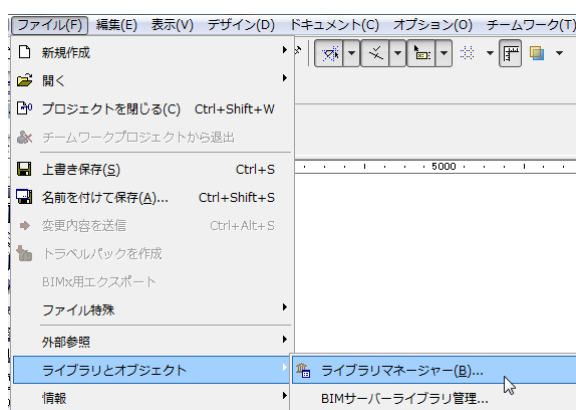
● ライブラリのロード

※ダウンロードしたファイル一式を、任意のフォルダに保存しておいてください。

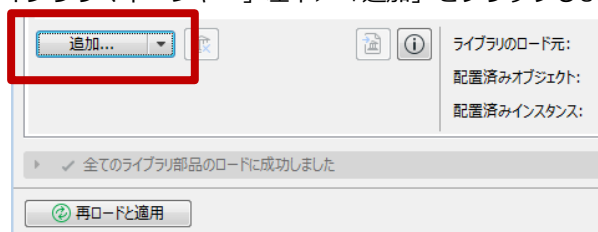
(弊社 HP よりダウンロードの場合には、zip ファイルを解凍し、任意のフォルダに一式保存してください。)

<注意> この時、フォルダ内のファイル構成を変更（削除、移動等）しないようにお願いします。

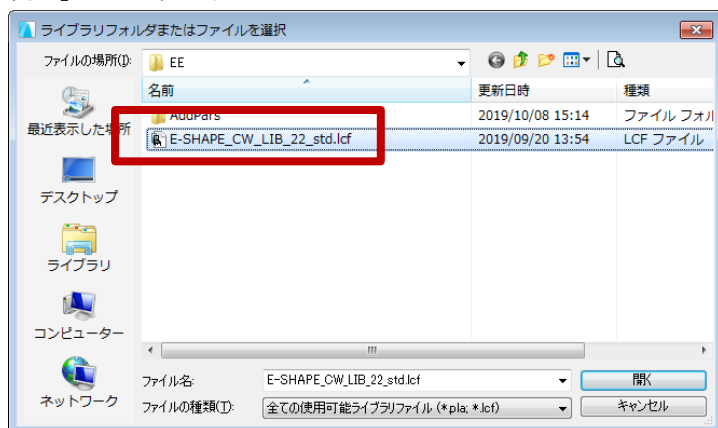
- ① 「ファイル」>「ライブラリとオブジェクト」>「ライブラリマネージャー」を実行します。



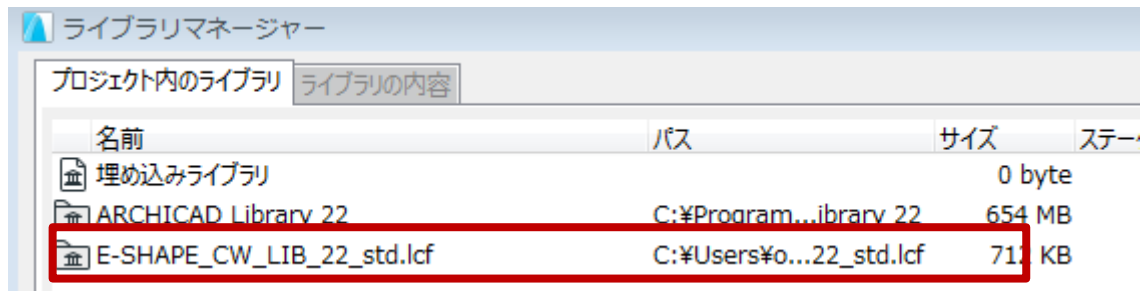
- ② 「ライブラリマネージャー」左下>「追加」をクリックします。



- ③ ダウンロードしたファイルから、「E-SHAPE_CW_LIB_22_std.lcf」フォルダを選択し、「開く」をクリックします。

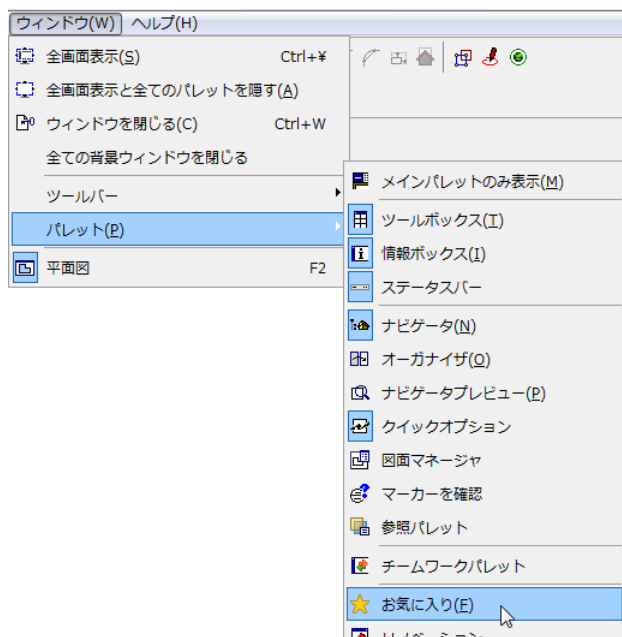


- ④ 「ライブラリマネージャー」ダイアログ>「プロジェクト内のライブラリ」で今回のフォルダが追加されたことを確認し、「OK」をクリックします。

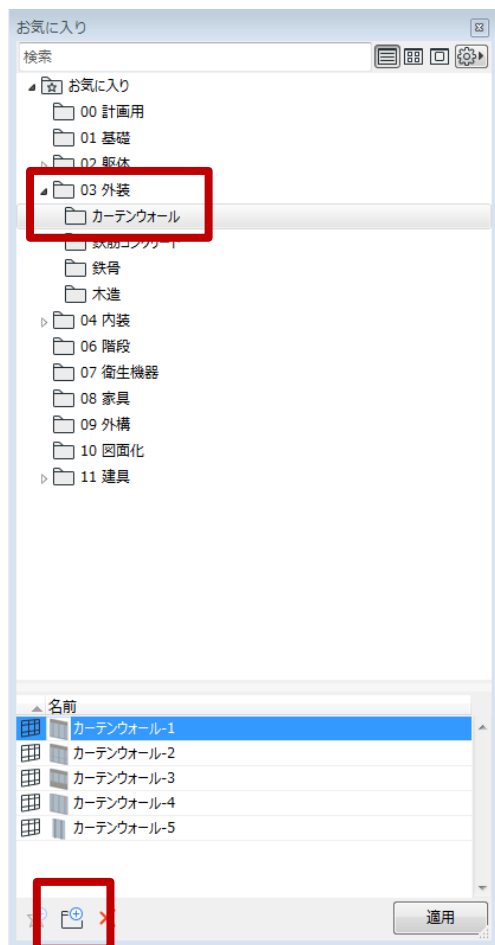


● お気に入りのロード

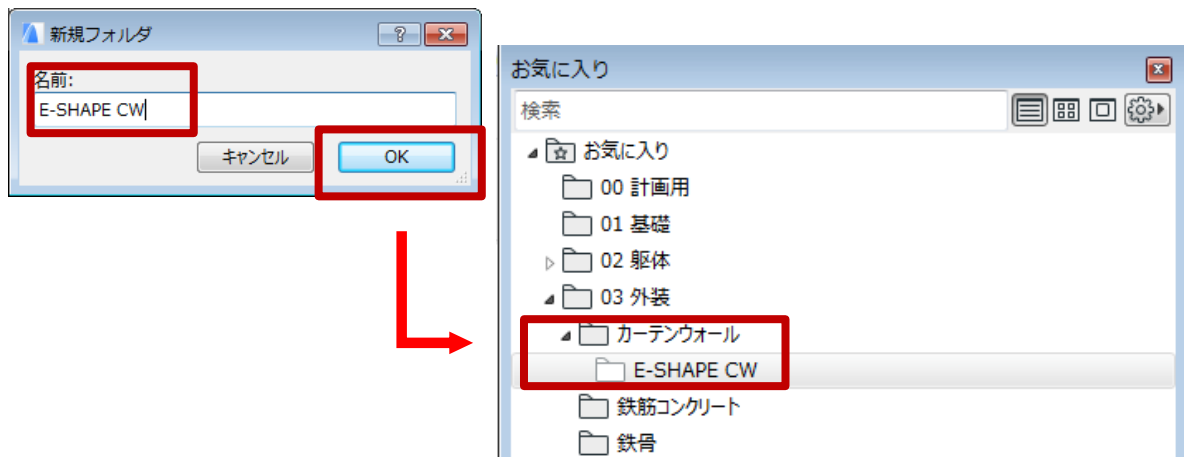
- ① 「ウィンドウ」>「パレット」>「お気に入り」を実行します。



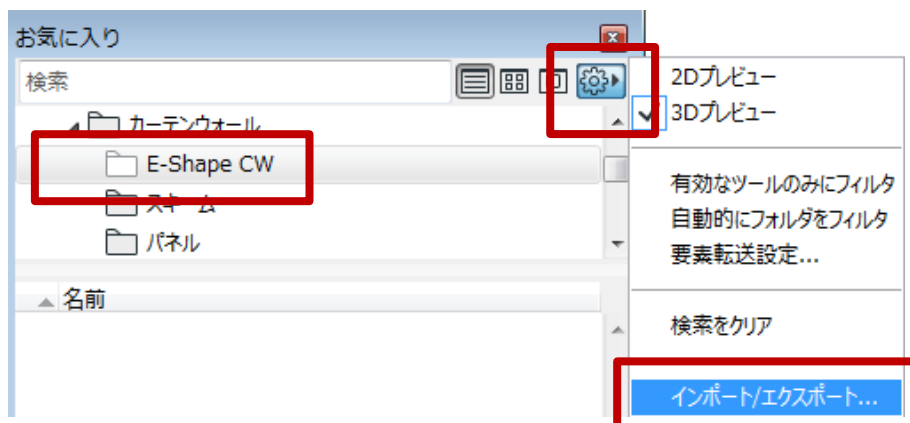
- ② 「お気に入り」ダイアログ>「03 外装」>「カーテンウォール」を選択し、左下の新規フォルダを選択。



- ③ 「新規フォルダ」ダイアログ > 任意のフォルダ名入力 > 「OK」で、「カーテンウォール」内にフォルダができたことを確認。



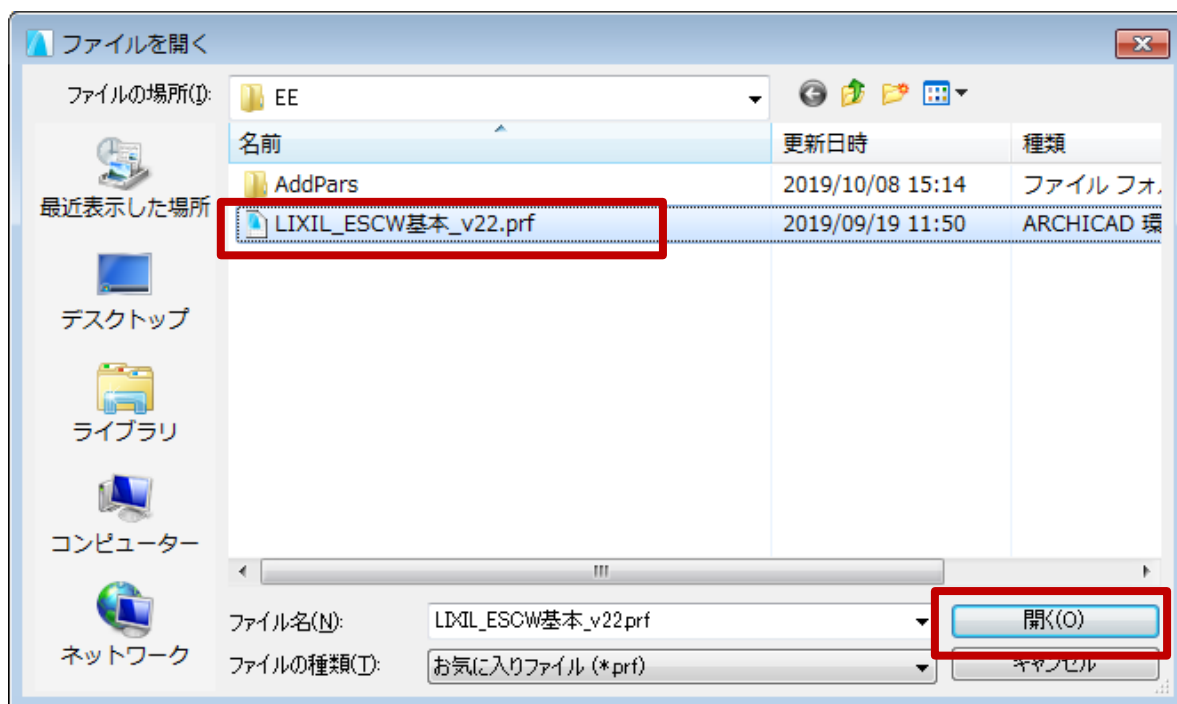
- ④ 「お気に入り」ダイアログ > ③で作成したフォルダを選択した状態で、右上の「追加設定」 > 「インポート/エクスポート」を選択。



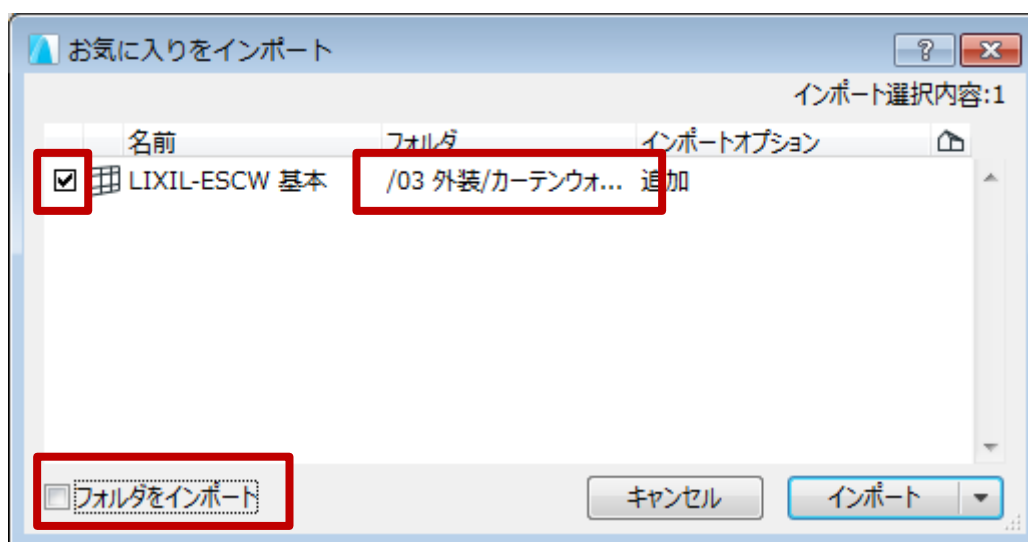
- ⑤ 「お気に入りをインポート/エクスポート」ダイアログ > 「ファイル」が選択されている状態で、「インポート」を選択。



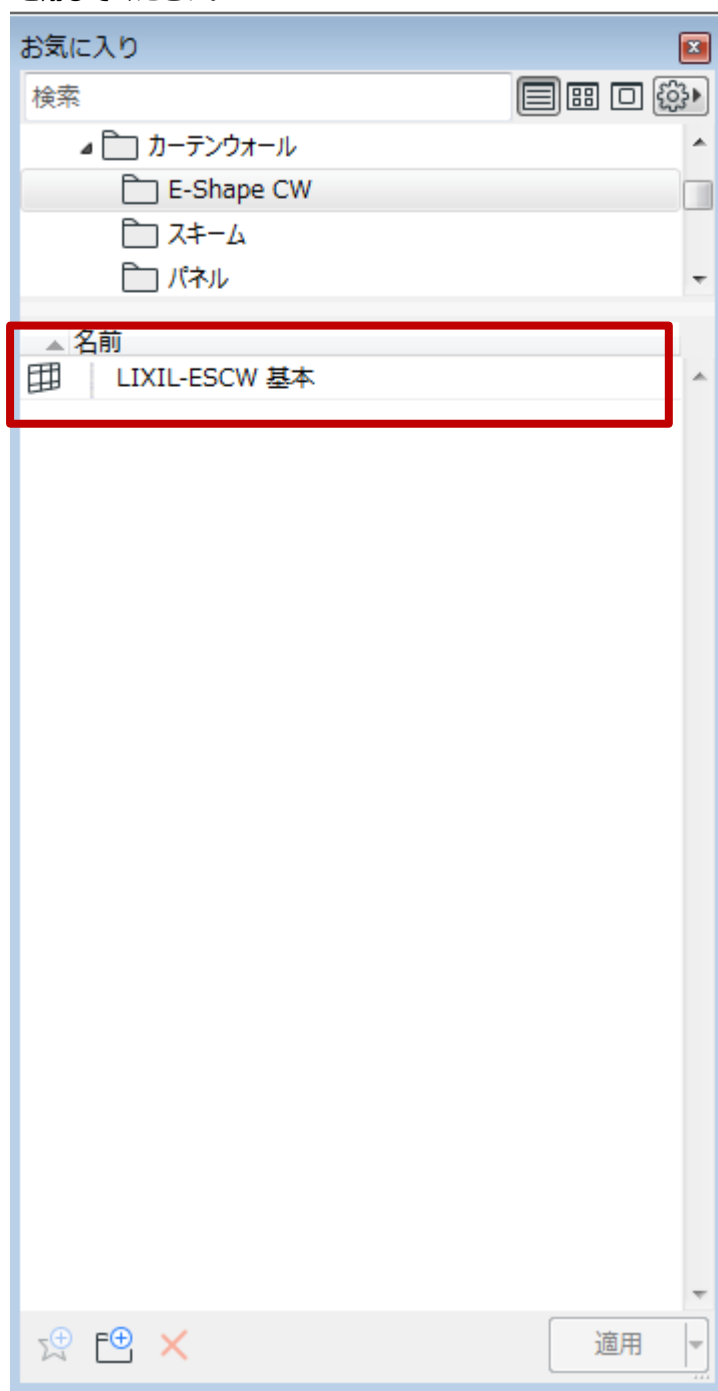
- ⑥ 「ファイルを開く」ダイアログ > ダウンロードしたファイルを保存したフォルダ内の「LIXIL_ESCW 基本_v22.prf」をクリックし、「開く」をクリックします。



- ⑦ 「お気に入りをインポート」ダイアログで下図のファイル左のチェックボックスにチェックが入っていることを確認。左下の「フォルダをインポート」のチェック外し、「フォルダ」欄に先ほど④で選択したフォルダ名が入っていることを確認して、インポートを選択。

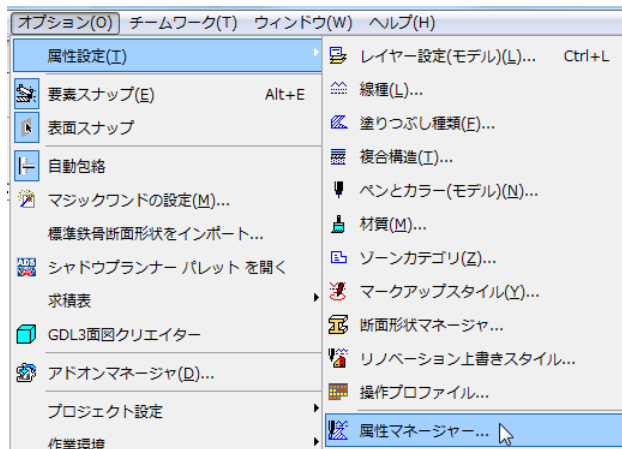


- ⑧ 作成したフォルダ内に、先ほどのファイルが追加されたことを確認し、右上の「×」でお気に入りダイアログを閉じてください。

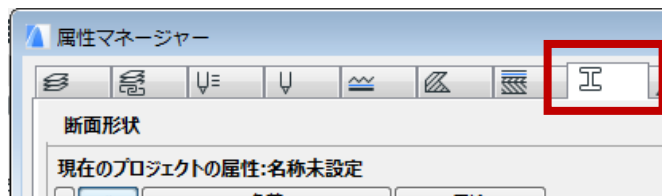


断面形状のロード

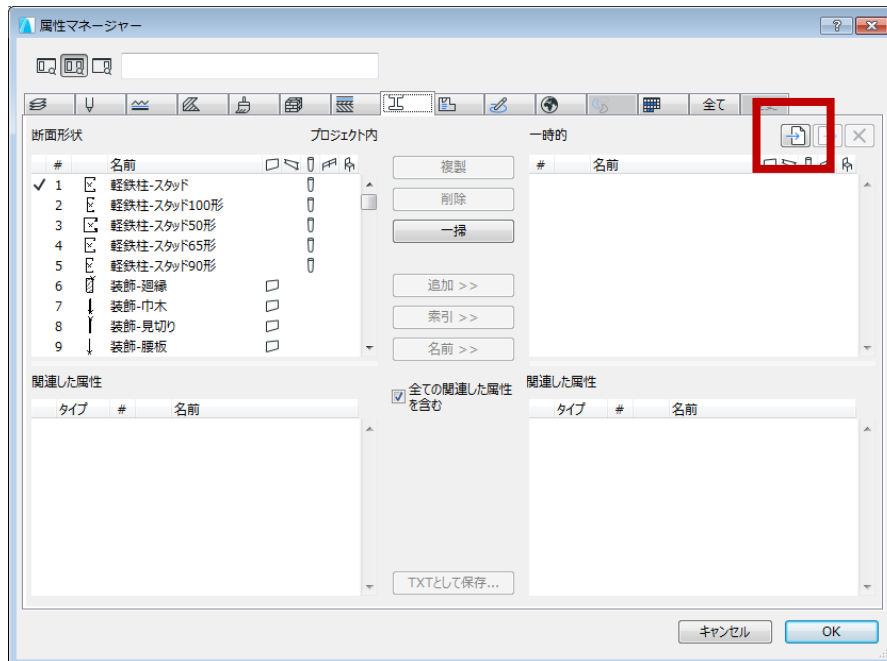
- ① 「オプション」>「属性設定」>「属性マネージャー」を実行します。



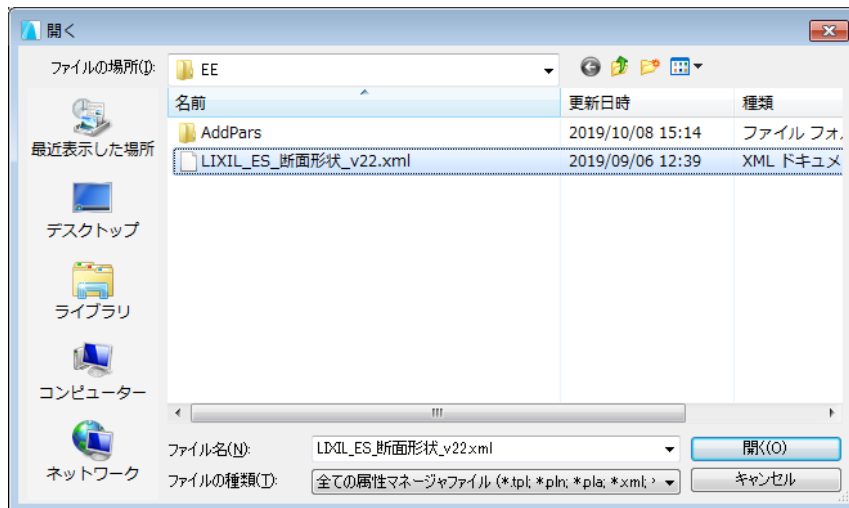
- ② 「属性マネージャー」ダイアログ>「断面形状」タブをクリックします。



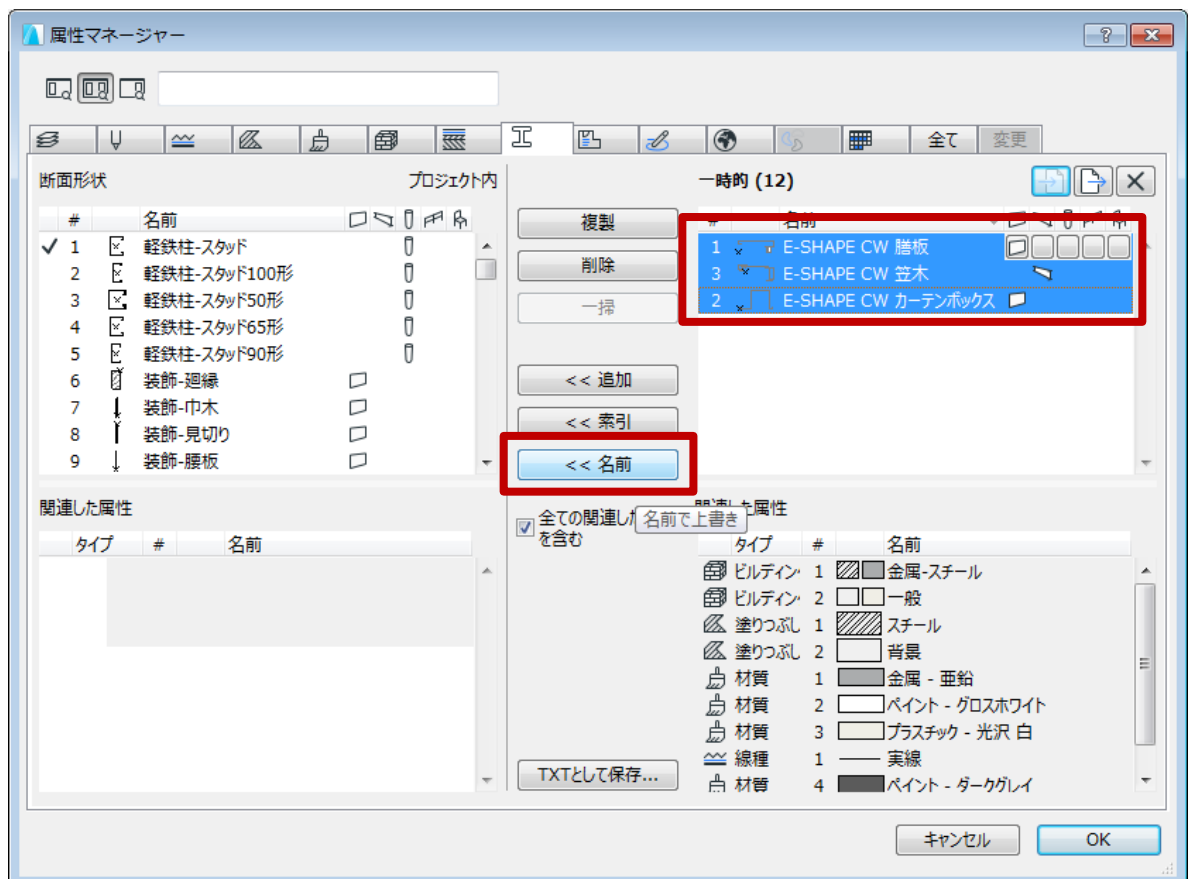
- ③ 「属性マネージャー」ダイアログ>「インポート」ボタンをクリックします。



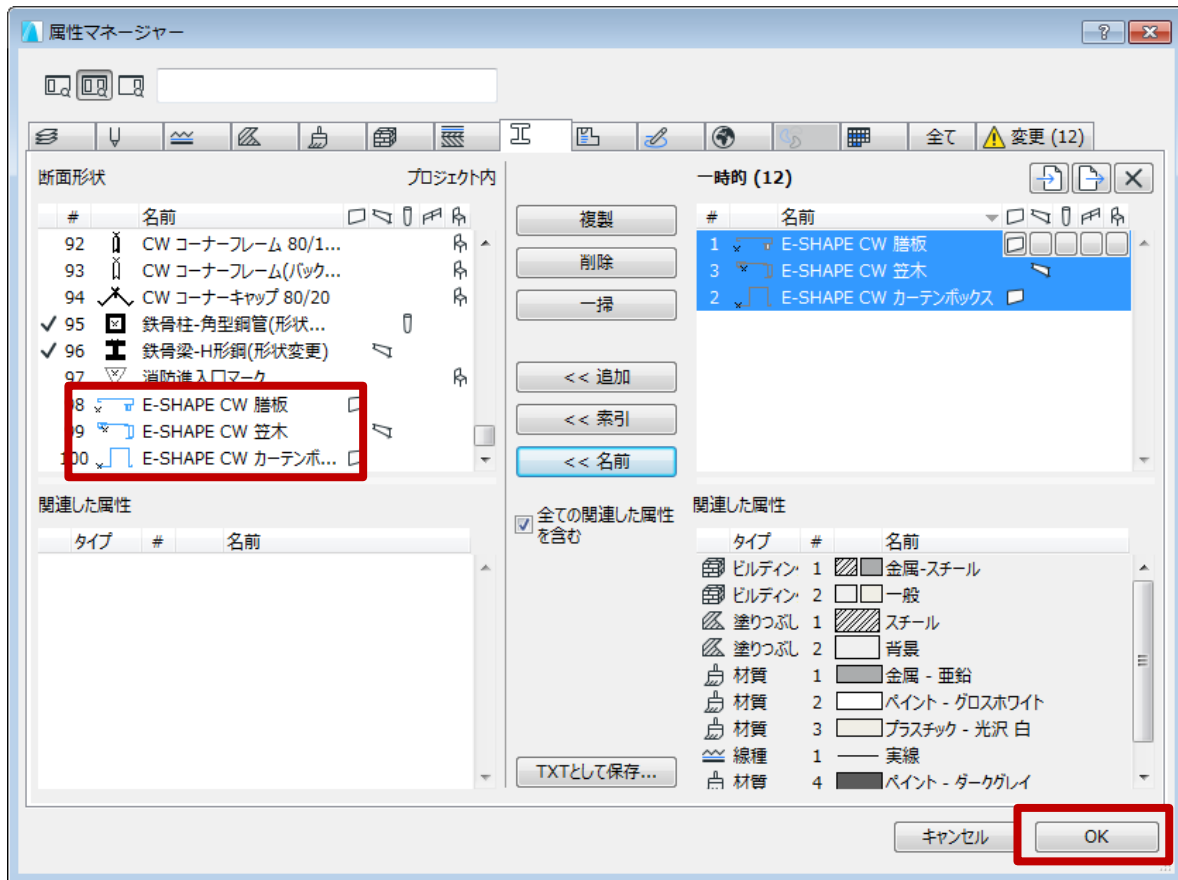
- ④ ダウンロードしたファイル内「LIXIL_ES_断面形状_v22.xml」を選択し、「開く」をクリックします。



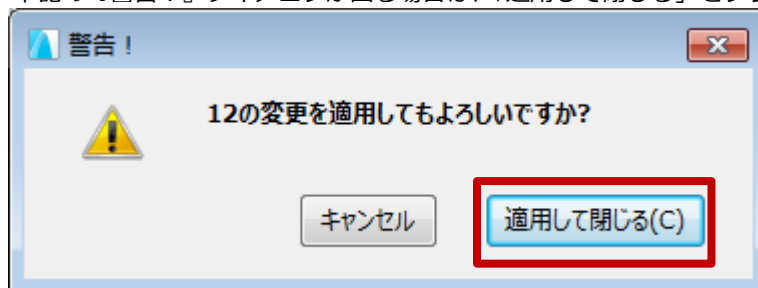
- ⑤ 読み込んだ3つの断面形状を「Shift + クリック」で全て選択し、「<<名前」をクリックします。



- ⑥ 左の『断面形状』の一覧に「E-SHAPE CW 膳板」「E-SHAPE CW カーテンボックス」「E-SHAPE CW 笠木」が追加されていることを確認して、「OK」をクリックして下さい。



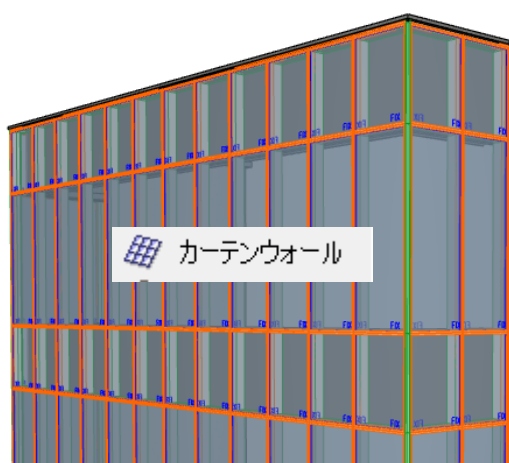
- ⑦ 下記の『警告！』ダイアログが出る場合は、「適用して閉じる」をクリックして下さい。



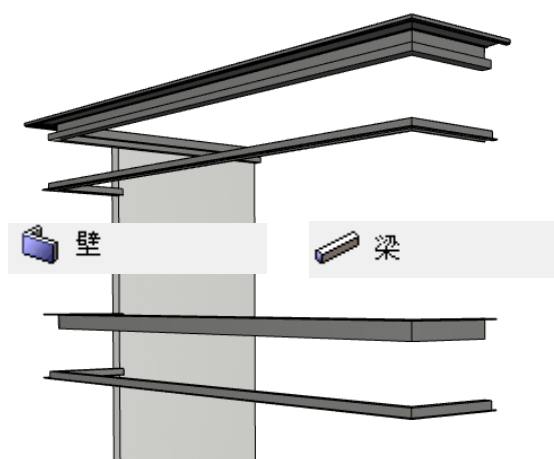
以上で環境設定は終了です。

2. LIXIL E-SHAPE カーテンウォールの仕組み

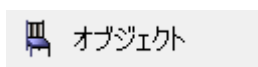
LIXIL E-SHAPE カーテンウォールは ARCHICAD のカーテンウォールツールを使用して配置します。ユニットサイズは「スキーム」で事前に定義します。境界フレーム（最上部無目・最下部無目・右端部方立・左端部方立）・マリオン（中間部方立）・トランザム（中間部無目）・パネルは用意された「お気に入り」を適用して配置します。一度に全ての設定を行うことができないため配置後に各部の編集が必要となります。膳板・カーテンボックス・笠木は壁ツールや梁ツールにカスタム断面形状を割当てて作成します。ファスナーはオブジェクトツールを使用して配置します。



◇方立・無目・パネルはカーテンウォールツールで入力



◇膳板・カーテンボックス・笠木は壁ツール・梁ツールで入



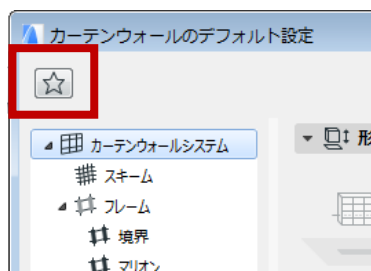
◇ファスナーはオブジェクトツールで入力

3. カーテンウォールの初期設定

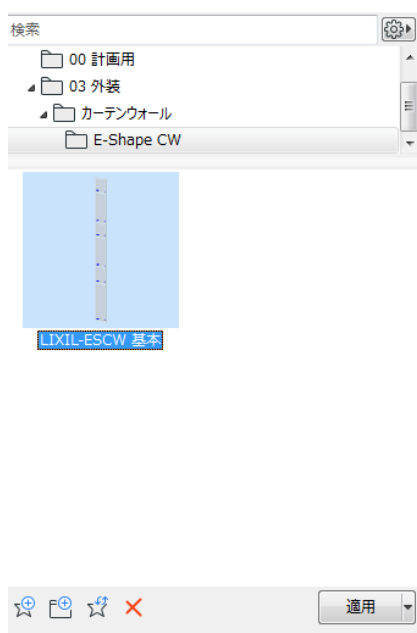
カーテンウォールの初期設定を解説します。

● スキーム設定

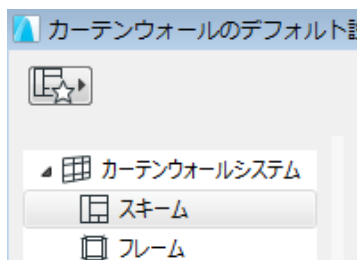
- ① カーテンウォールツールを実行し、設定ダイアログを開きます。
- ② 「カーテンウォールシステム」を選択し、「☆（お気に入り）」をクリックします。



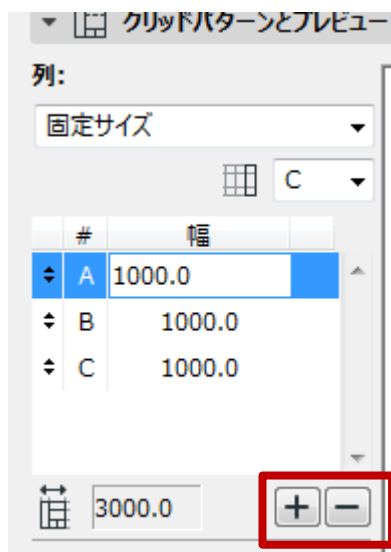
- ③ お気に入りのロードで作成したフォルダ内「LIXIL-ESCW 基本」を選択し、「適用」をクリックします。



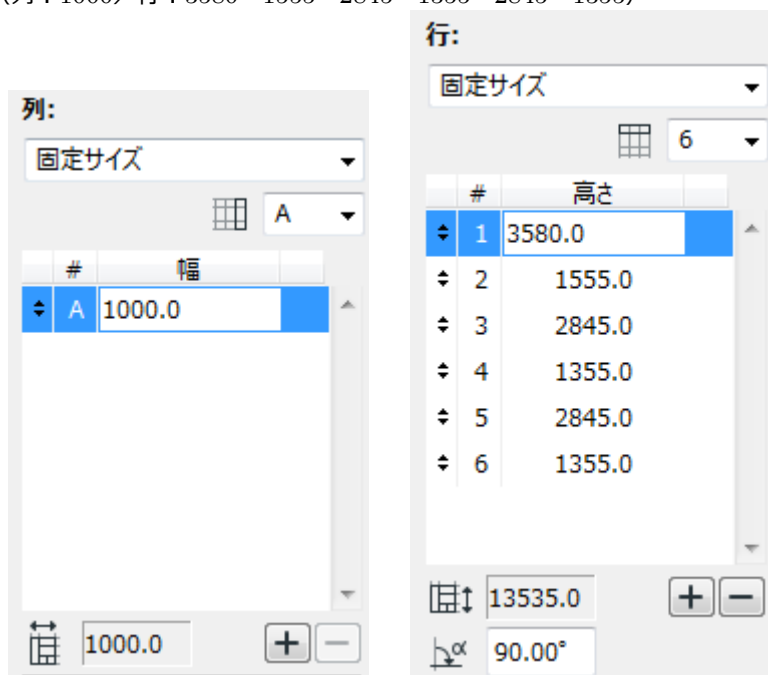
- ④ 「スキーム」を選択します。



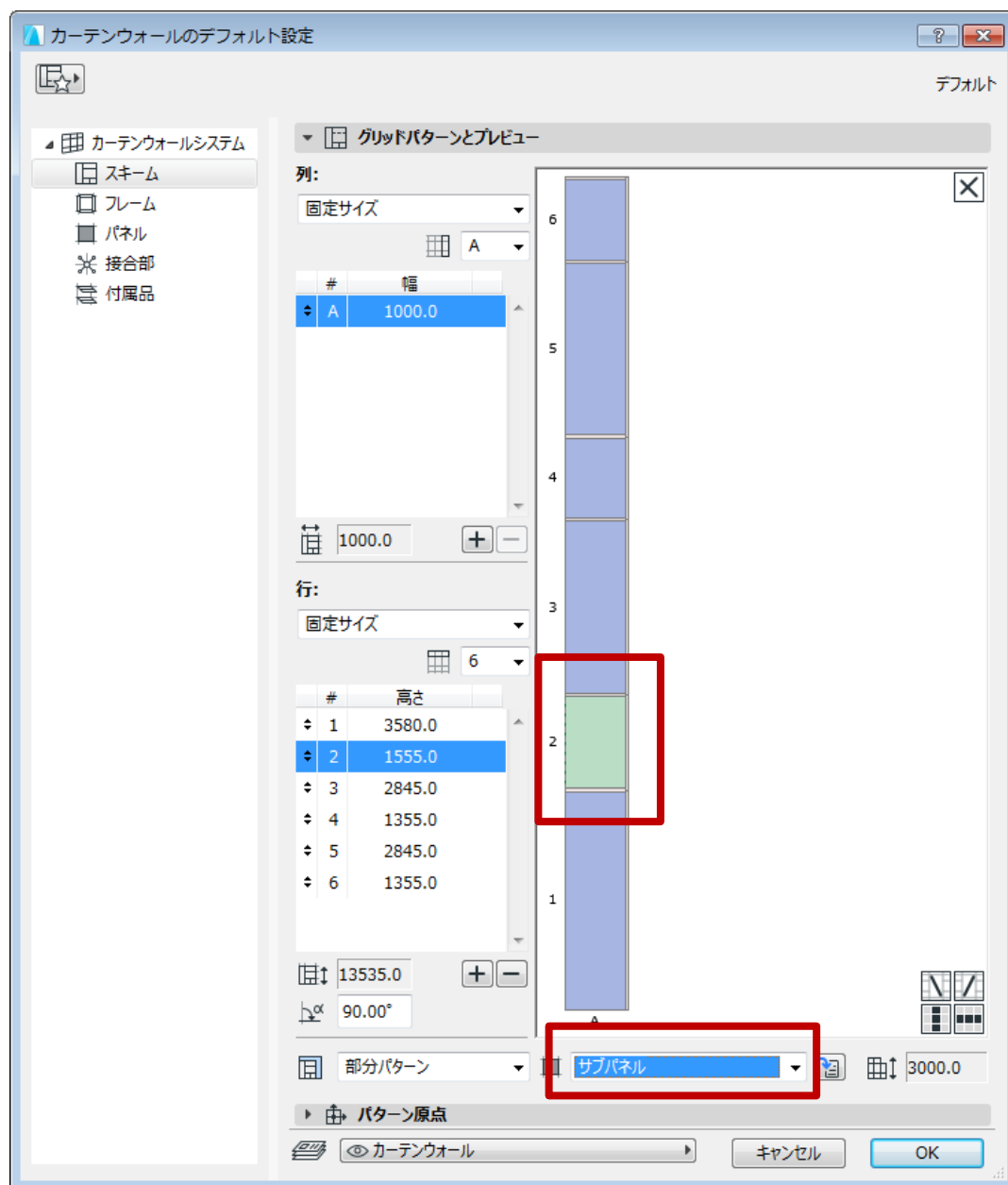
- ⑤ 「グリッドパターンとプレビュー」パネルでユニットサイズを指定します。「+」ボタン・「-」ボタンで行・列の調整を行います。



- ⑥ ここでは例として下図のように行・列の設定を行います。
(列：1000／行：3580・1555・2845・1355・2845・1355)



- ※ プレビュー内のパネル上でクリックすることでパネル選択ができます。選択されたパネルは薄いグリーンとなりますので、サブパネル/メインパネルの切り替えを用いてスパンドレル部とビジョン部の区分けをしてください。

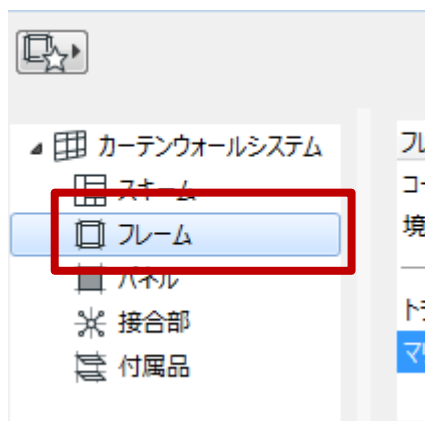


以上でスキームの設定は終了です。引き続きフレーム設定を行います。

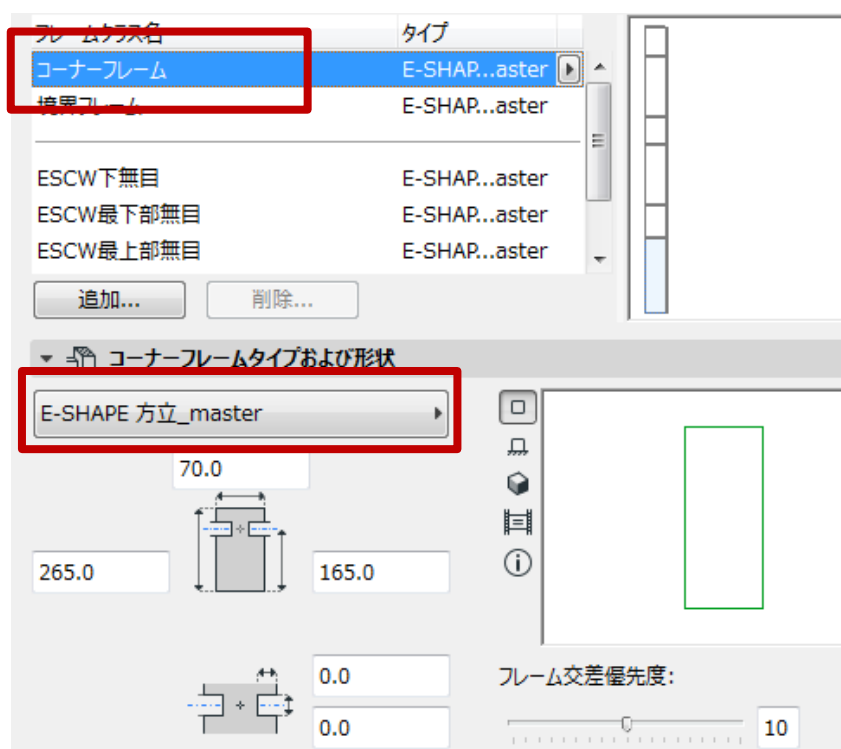
● フレーム設定

※初期設定として、下記設定は設定されてきますが、念のため確認をお願いします。

- ① 「フレーム」>「境界」を選択します。

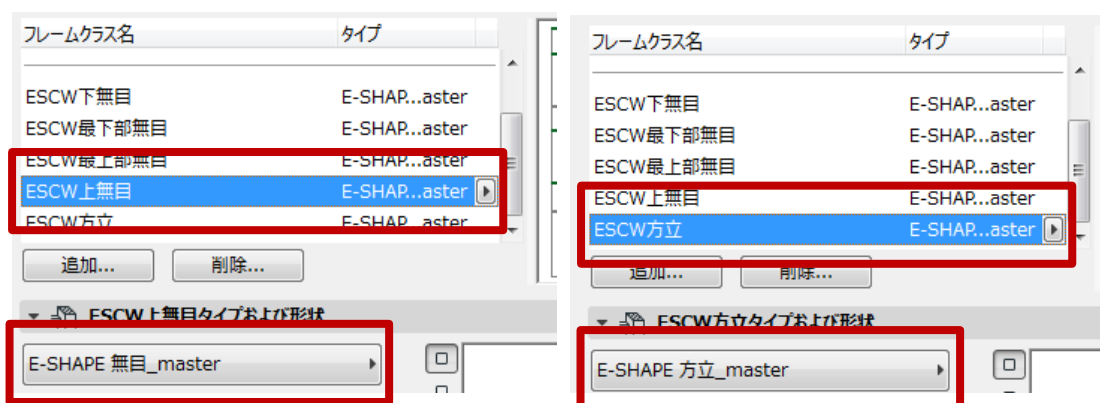
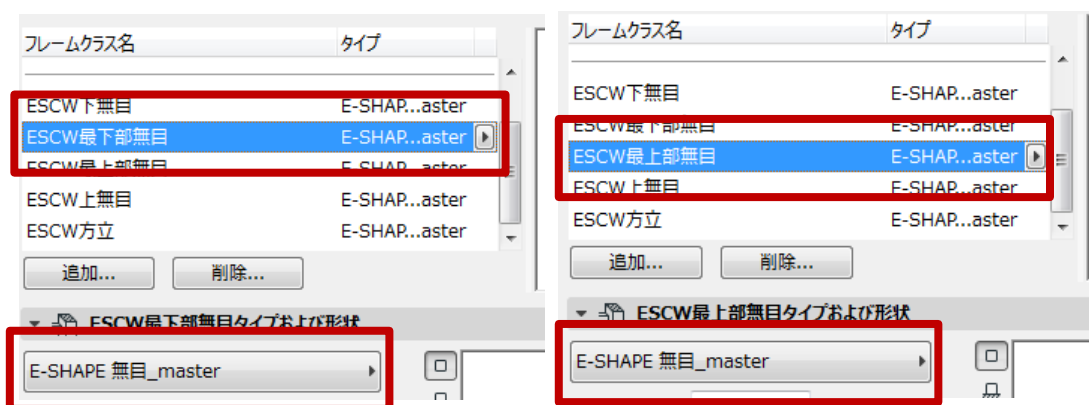
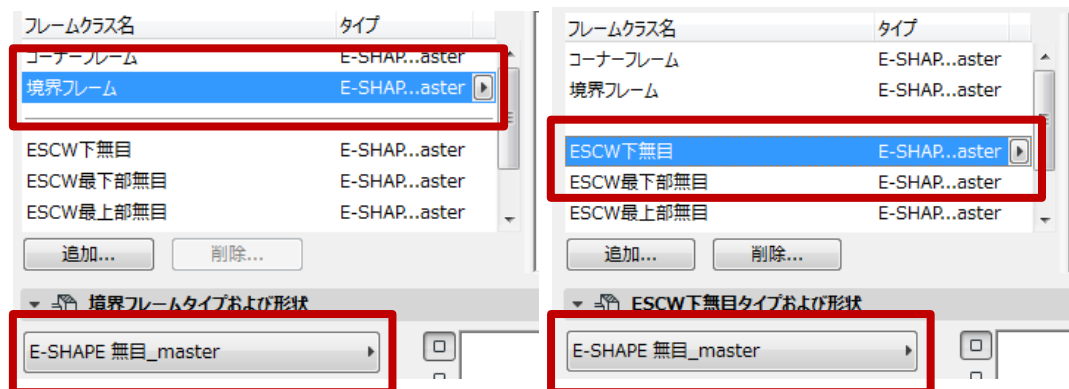


- ② 「コーナーフレーム」を選択後、「コーナーフレームタイプ」パネルで「E-SHAPE 方立_master」を選択して下さい。



- ※ 配置時には1種類しか選択できません。配置後に最上部無目・最下部無目・右端部方立・左端部方立への設定変更を行います。
- ※ 型材形状のパラメータは変更しないで下さい。

- ③ その他のフレームも下記の通り設定をしてください。
 (境界フレームは方立、無目、どちらでも構いません。下図は無目にて設定した場合となります。)

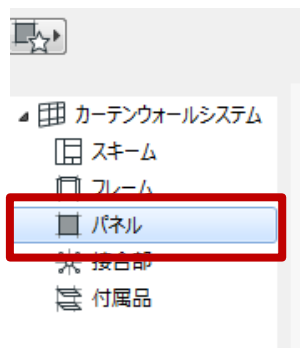


以上でフレーム設定は終了です。引き続きパネル設定を行います。

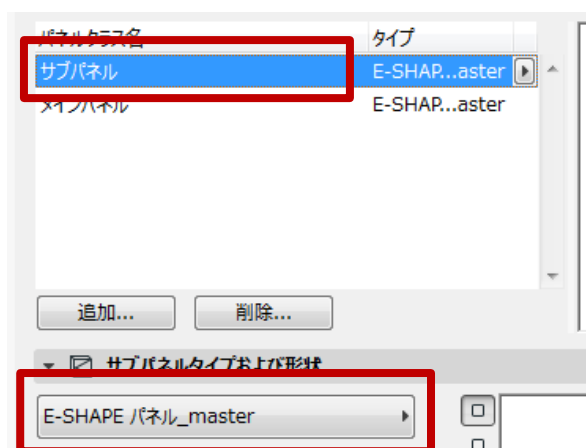
● パネル設定

※初期設定として、下記設定は設定されてきますが、念のため確認をお願いします。

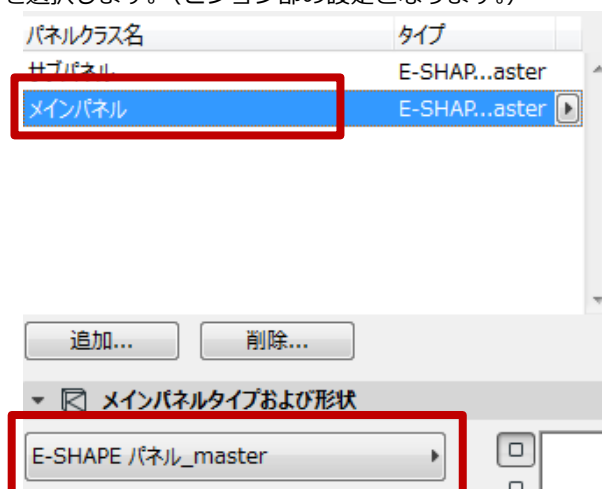
- ① 「パネル」を選択します。



- ② 「サブパネル」を選択し、「サブパネルタイプおよび形状」パネルにて「E-SHAPE パネル_master」を選択します。（スパンドレル部の設定となります。）



- ③ 同様に「メインパネル」を選択し、「メインパネルタイプおよび形状」パネルにて「E-SHAPE パネル_master」を選択します。（ビジョン部の設定となります。）



以上でパネル設定は終了です。

実際のカーテンウォール配置等につきましては、
別途『カーテンウォールパーツ利用ガイド』をご確認ください。